

いなべ市 議会だより

第39号

平成25年11月1日

発行
三重県いなべ市議会
編集
議会広報編集委員会



9月定例議会

- 平成24年度決算を認定
- 監査委員の意見
- 総務常任委員会、
産業建設常任委員会視察研修
- 東海環状自動車道着工式

平成24年度決算 財政好調 実質収支

一般会計



一般会計及び特別会計の決算状況

区 分	歳入決算額 A	歳出決算額 B	歳入歳出 差 引 額 C (A - B)	翌 年 度 繰越財源 D	実質収支 E (C - D)
一 般 会 計	224億5,056万円	209億3,826万円	15億1,230万円	9,906万円	14億1,324万円
特 別 会 計	農 業 公 園 事 業	1億3,833万円	1億1,829万円	2,004万円	2,004万円
	国 民 健 康 保 険	46億 169万円	42億4,382万円	3億5,787万円	3億5,787万円
	後 期 高 齢 者 医 療	8億 919万円	7億9,932万円	987万円	987万円
	介 護 保 険	27億 517万円	26億1,055万円	9,461万円	9,461万円
	農 業 集 落 排 水 事 業	2億7,209万円	2億4,491万円	2,718万円	2,718万円
	下 水 道 事 業	17億2,893万円	16億1,174万円	1億1,720万円	1億1,720万円
	小 計	102億5,539万円	96億2,863万円	6億2,676万円	6億2,676万円
合 計	327億 595万円	305億6,689万円	21億3,906万円	9,906万円	20億4,000万円

注) 表示単位未満四捨五入のため、計算に不一致の場合があります。

は20億円の黒字

議会費

(議会を運営するために使ったお金)

2億4,004万円

(1.1%)

公債費

(市が借りた借金を返済したお金)

21億9,552万円

(10.5%)

その他

27億731万円

(12.9%)

総務費

(庁舎管理、福祉バス運行、C T Y放送などに使ったお金)

20億6,013万円

(9.8%)

教育費

(学校教育、社会教育や学校の建て替えなどに使ったお金)

24億8,055万円

(11.8%)

歳出合計

209億3,826万円

民生費

(高齢者、児童などの福祉や保育園(所)運営に使ったお金)

62億4,604万円

(29.8%)

消防費

(桑名消防署の運営委託や市の消防団活動などに使ったお金)

7億5,265万円

(3.6%)

土木費

(道路、橋の建設や維持管理などに使ったお金)

19億3,969万円

(9.3%)

農林水産業費

(農業を活性化するために使ったお金)

5億2,553万円

(2.5%)

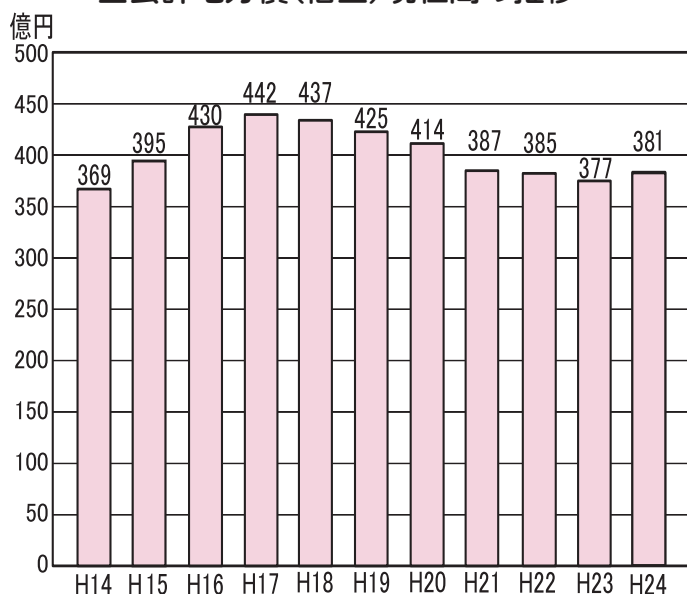
衛生費

(ごみ処理や予防・健診などに使ったお金)

17億9,080万円

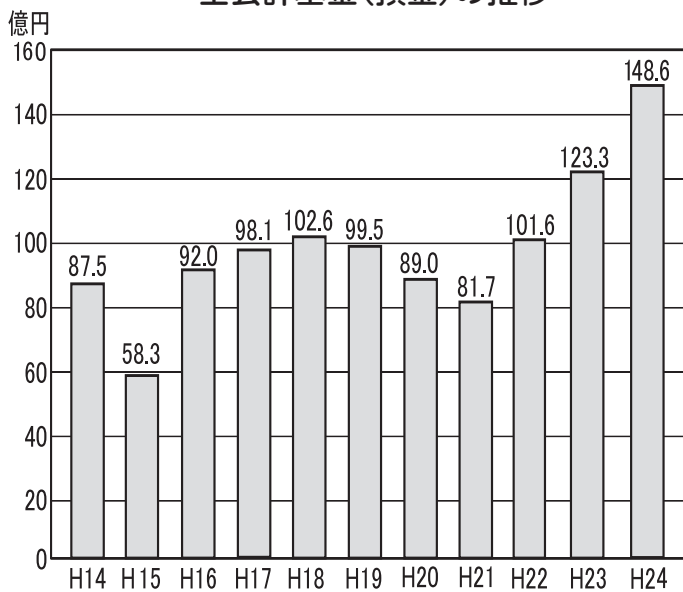
(8.6%)

全会計地方債(借金)現在高の推移



注) 平成14年度は、旧4町合計です。

全会計基金(預金)の推移



注) 平成14年度は、旧4町合計です。

監査委員の意見

平成24年度財政健全化審査意見書(抜粋)

監査委員 羽場 恭博
監査委員 鈴木 順子

審査の結果

(1)意見

①実質赤字比率について

実質収支額が黒字であったため、良好な状態であると認められた。

②連結実質赤字比率について

実質黒字又は資金剰余の状況であったため、良好な状態であると認められた。

③実質公債費比率について

平成24年度の実質公債費比率は8.9%で、平成23年度に比べ1.0ポイント改善されている。この主な要因は、水道事業会計や下水道事業特別会計等の元利償還金に充てた繰出額の減少により、元利償還金等が前年度比約1億円減少し、良好な状態であると認められた。

④将来負担比率について

下水道事業特別会計等の補償金免除繰上償還により元利償還の将来負担が軽減されたことと、財政調整基金及び市債管理基金が前年度比25億円大きく積み増したことにより、充当可能財源が将来負担額を上回ったため、良好な状態であると認められた。

区 分	平成24年度	平成23年度
財政力指数	0.822	0.866
実質収支比率	10.5	12.4
経常収支比率	79.6	82.6

健全化判断比率	平成24年度	平成23年度	早期健全化基準
①実質赤字比率	－%	－%	12.89%
②連結実質赤字比率	－%	－%	17.89%
③実質公債費比率	8.9%	9.9%	25.0%
④将来負担比率	－%	9.5%	350.0%

※①②④は、実質赤字及び将来負担は生じていないため「－」で表記。

資金不足比率	平成24年度	平成23年度	経営健全化基準
水道事業会計	－%	－%	20.0%
下水道事業特別会計	－%	－%	20.0%
農業集落排水事業特別会計	－%	－%	20.0%

※ 資金不足は生じていないため、資金不足比率は「－」で表記。

(2)是正改善を要する事項

指摘すべき事項は特にない。

平成24年度経営健全化審査意見書(抜粋)

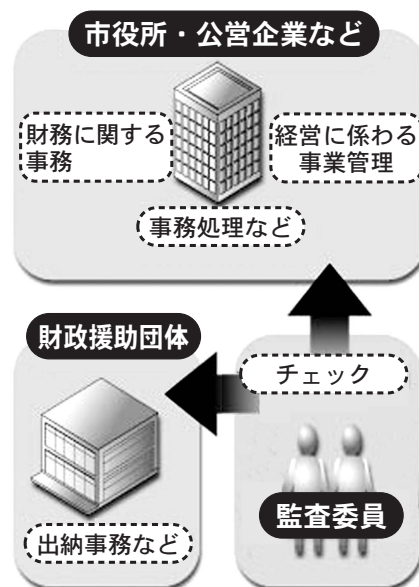
審査の結果

(1)意見

水道事業会計並びに下水道事業特別会計及び農業集落排水事業特別会計の平成24年度における資金不足比率は、それぞれの会計において資金不足額が生じていないため、良好な状態であると認められた。

(2)是正改善を要する事項

指摘すべき事項は特にない。



監査委員は、監査を行うために地方自治法に基づいて設置されている機関です。監査委員は、市長の指揮監督を受けずに独立した立場で、市が補助金等財政援助を行っている団体の執行する事務が適正であるか、業務の存続が適当であるかなどといった点について、監査を行います。

地方自治法においては、監査委員は、これらの監査を行うにあたっては、地方自治の本旨に基づき「最少の経費で最大の効果を挙げるようにしているか」、「組織及び運営の合理化に努めているか」といった点に特に注意する必要があるとしています。

常任委員会の議案審査

総務常任委員会での主な質疑

平成25年度一般会計補正予算（第2号）

Q 消防施設費の補正は、藤原町で消火栓の消防ホースの先端部分が盗難に遭ったことも含めての事業費ということであるが、2年くらい前からほかの地区でも盗難に遭っている。その地区も提出されているのか。

A 昨年は大安町と員弁町で約150本、今年の7月から藤原町で約110本、北勢町で約70本、員弁町で約35本の盗難に遭った。昨年の大安と員弁については在庫で対応できたが、在庫がなくなったので補正をしたい。

Q 防火水槽の修繕は消防団から要望をするのか、自治会から要望するのか。

A 現在は自治会要望に基づいて設置をしている。

平成24年度一般会計歳入歳出決算認定

Q 庁舎の維持管理に非常にお金がかかっており、老朽化が進んでいることがよくわかる。特に大安庁舎が非常にかかっており、他の3庁舎に比べて光熱水費と委託料が桁違いに多いのが見て分かる。これは教育委員会や大安公民館があるため高くなっているのか。

A そのとおり。エリアが広いこともあり、建物が電気の契約も1本になっている。東グラウンドから

西の公民館まで同一敷地内であるため、同一の電気料金が発生している。保守管理については周辺環境整備として、スポーツ公園が広く、それ以外に西部地域や東部など児童センター周辺、大安駅、両ヶ池公園など全部含まれている関係上、保守管理も突出している。



消防ホース

Q 福祉バスの点検、整備はどれくらいの頻度で行っているのか。

A 車検が毎年、定期点検が3カ月に一度とそれ以外に細かい点検も必要に応じて行っている。

Q 福祉バスの修繕料が800万円支出されているが、重大な事故や故障があったのか。

A 人身事故は、平成22年度に車内での転倒事故が3件あり、平成23年度0件、平成24年度0件で道路上の人身事故は福祉バスになってからは一度もない。また、構造物の接触事故は平成22年度が30件、平成23年度が11件、平成24年度が4件と減少傾向にあり、安全運転に努めている。

教育民生常任委員会での主な質疑

住民基本台帳カードの利用に関する条例の制定について

Q 周知徹底する指導機関は。また、PRはどのようにするのか。

A 申請の受付を12月から開始し、12月から一定期間は無料で交付する。コンビニ交付についてPRを積極的に行っていきたい。

また、PRは自治会長会での説明や制度の周知

を行い、広く市民に対して広報誌、ホームページへの掲載、チラシやポスターの配布を考えている。

Q 手数料を徴収しないとのことであるが、だいたい市の負担はどれくらいを想定しているのか。

A 住民基本台帳カードは現在1枚500円の手数料を徴収しているが、それが無償になると、例えば3月までに1,000枚を交付したとすると50万円ということになる。

いなべ市議会だより

平成24年度一般会計歳入歳出 決算認定について

Q 桑名広域清掃事業組合でのごみ処理費用は約1億2,000万円ということであるが、昨年と比較した増減額は。

A 昨年の桑名広域清掃事業組合への負担金は1億1,842万8,000円。増加額は487万3,460円。

Q 増加の理由としてはどのようなことが考えられるか。

A 桑名広域清掃事業組合における処理費用で、昨年度については燃料費等の高騰があり、需用費関係の増とRDFへの処理負担金が毎年引き上げられていることから増加している。

平成24年度介護保険特別会計 歳入歳出決算認定について

Q 介護保険給付を受ける人数は昨年から比べてどれくらい増えたのか。

A 認定者数は平成24年3月末が1,683名で、平成25年3月末は1,696名。平成24年度に居宅サービスを受けた方の延べ人数は1万1,251名であり、認定者数に対して55.3%の方がサービスを利用されている。

平成24年度国民健康保険特別会計 歳入歳出決算認定について

Q 国民健康保険料が昨年と比べて2,000万円増額になっているが、保険料の値上げによるものか。

A 保険料は医療分、後期分、介護分と3つあるが、平成24年度は医療分として1人当たり3,000円弱引き上げられたことにより、約5%の引き上げとなったことや所得が落ち込んだ平成22年、23年からは少し回復してきたことによる影響も考えられる。

平成24年度後期高齢者医療特別会計 歳入歳出決算認定について

Q 保険料が2,600万円増額になっているが、この主な原因は。

A 後期高齢者医療の保険料についても平成24年度は若干引き上げさせていただいた。それと被保険者について、平成24年3月から平成25年3月の1年間で比べると64名ほど増えている。それも1つの要因かと思う。

産業建設常任委員会での主な質疑

平成25年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)

Q 公共下水道の管理費の工事請負費1,000万円は道路のマンホールの舗装と聞いたが、マンホールのところだけでなく、管路の埋めたところが下がった部分の舗装のやり直しは考えていないのか。

A マンホールの周りや管路で下がった部分についても、あまりひどくなると自治会要望等で実施している。

いた。当然、市の職員が点検はしていたようであるが、目視だけであったため腐っているのに気付かなかったということだった。いなべ市の場合、どのように点検をしているのか。

A カーブミラーは主に自治会長に管理をさせていただいているのが現状であり、自治会長から通報を受けるか、道路パトロールを実施しているため、その時に確認し維持管理をしている。

平成24年度一般会計歳入歳出決算認定について

Q 交通安全対策施設整備事業で委託料や工事請負費があるが、ニュースでカーブミラーが倒れて子どもの足に当たったということが報道されて

平成24年度水道事業会計決算認定について

Q 簡易水道の統合整備事業の進捗は。

A 簡易水道の統合事業は平成24年度末で事業費において34%ほど進捗をしている。小原一色までは送水管が完了しているので、給水を開始した。

請願書審査の結果、国へ意見書を提出

員弁郡・いなべ市PTA連合会会長他2名から下記の4件の請願書が提出された。

所管の教育民生常任委員会で審査を経て全員賛成により、国へ意見書として提出することになったので意見書趣旨を掲載する。

義務教育費国庫負担制度の存続と 更なる充実を求める意見書

趣 旨

義務教育費無償の原則にのっとり、教育の機会均等と水準の維持向上を図るため設けられた義務教育国庫負担制度を存続し、更なる充実をすること。

「教職員定数改善計画」の着実な実施と 教育予算拡充を求める意見書

趣 旨

子どもたちの「豊かな学び」の保障に向け、「教職員定数改善計画」の着実な実施と教育予算の拡充を行うこと。

保護者負担の軽減と就学・修学支援に 関わる制度の拡充を求める意見書

趣 旨

近年の厳しい経済・雇用情勢により、子どもたちの学びなどに影響が出ることのないよう、保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度を拡充すること。

防災対策の見直しをはじめとした総合的な 学校安全対策の充実を求める意見書

趣 旨

子どもたちの安心・安全を確保するため、巨大地震等の災害を想定した防災対策の見直しをはじめ、総合的な学校安全対策を行うこと。

反対 VS 賛成討論

本会議において反対・賛成の討論があった議案は次のとおりです。

平成25年度一般会計補正予算（第2号）

（賛成多数 可決）

本年度に行った事業を詳しく調査し、それぞれ必要な経費の増額や不要な経費の減額を補正するものです。

反対討論

衣笠 民子 議員

「新庁舎建設、学校の統廃合は もっと慎重に」

新庁舎建設に向けたアドバイザー事業と新しい学校づくり基本構想策定事業の2つの補正予算に反対。

新庁舎建設に向けたアドバイザー事業は、6月議会で新庁舎建設基金に30億円の積み立てを決めたことを皮切りに、合併特例債が5年延長になるため始まった新庁舎建設を進める事業。私どもの市政アンケートでも新庁舎建設は、取り組んで欲しい事業の防災・暮らしなど11項目中最下位。市民には「税金は暮らし応援にまず使って欲しい」という意見が多く、新庁舎建設を望む機運は盛り上がっていない。一般会計が大変と下水道料金を上げながら新庁舎建設を進めるのは

税金の使い道の整合性がない。また、市民への周知や合意形成がないまま進めることは賛成できない。

新しい学校づくり基本構想策定事業は、委員会審査で明らかになったように、藤原の5つの小学校を廃校にしていこうとするもの。地域の学校を廃校にすることは不安の声がある。市政アンケートに「複式学級の解消のためには仕方がない」「複式学級は解消なくては」という意見があるが、主要5教科に関しては教員を配置して学年ごとに授業が行われていることが伝わっていないのではないかと。小中一貫教育を目指すと言われているが、小中一貫教育は未確定のものであり、全国各地では学校統廃合の方便として使われ、問題になっている。

賛成討論

伊藤 正俊 議員

「新しい学校づくりは 教育委員会の責務」

教育委員会の補正に関しては、教育振興ビジョンの中の教育に対する基本理念や昨年度1年間かけての検討委員会の提言書を読んでも新しい学校づくりは教育委員会の責務であると私は理解している。小学校統合

と今回の提案をして検討する内容は関連性があると理解はしているが、直接的なものではない。学校統合に関しては提言書のある一定規模の学級、児童数というのが子どもたちの育ちにとって必要であると提言し、しかも早期にこの問題を解消することが行政の優先課題としている。したがって、私はこれからの学校の姿、教育の形というのはどんどん議論をして、21世紀の新しい子どもたちを育てるために必要だと考えている。

平成24年度一般会計歳入歳出決算認定について

(賛成多数 可決)

平成24年度の決算を、監査委員の意見を付けて認定に付するものです

反対討論①

衣笠 民子 議員

「市民の暮らしを支え、 市域経済を活性化する施策を求める」

市民は年少扶養控除の廃止、特定扶養控除の縮小で1億4,300万円の増税。また、市民の収入は増えていない。

増税、斎場使用料の引き上げに始まり、水道料金、介護保険料、国民健康保険料、後期高齢者医療保険料と値上げのオンパレード。これでは、住民のくらしを壊し、地域経済も壊す。いなべ市にお金がないわけではない。必要な市民サービスを行う財源はあると指摘して、各種の住民負担増を予算で反対してきたが、決算では公債費を5,000万円減らした上で財政調整基金は17億円積み立て、76億円に増えた。普通会計基金は平成23年度から26億円増加。大幅な市民負担増はすべきではなかったことが証明された。

地域活性化対策として即効性があると全国にも広がっている住宅リフォーム助成制度実施の提案にも応えない。その代わりの地域活性化策も採られているとはいえない。

ムダの削減の点からは、員弁町分の可燃ゴミを早期にあじさいクリーンセンターに一本化して経費の削減に踏み切るべきと指摘してきた。あじさいクリーンセンターで一本処理が可能になっても、平成32年までは割高な上、RDF処理委託料単価が上がっていく桑名広域清掃事業組合での処理を続けなくてはならない。企業にも水道料金等、応分の負担を求め地域への社会的貢献を果たしてもらうべき。

賛成討論①

伊藤 弘美 議員

「健全財政に高く評価」

私は、平成24年度一般会計決算は素晴らしく良い結果であったと、高く評価している。

平成24年度一般会計予算は203億3,000万円提示され議決した予算は適正に執行された。特に、教育現場の整備として、笠間保育園園舎の建設、員弁東小学校の改築、また大安中学校の建設と学校関係の整備が順調に進められた。

環境整備として生活衛生面の排出ゴミ処理、あじさいクリーンセンター延命対策、社会保障費として高齢者福祉の充実を初め市民サービスが拡充されており、扶助費が年々増加傾向にあり喜ばしい限りである。

決算の結論を端的に申すならば負債借金を減らし、基金を蓄え、次世代を担う子どもや孫に負担をかけない健全財政の推進で、将来負担比率17.5%と良くなり財政力指数も0.822と回復傾向にある。決算で良い結果が出ているのは、各部局の職員がそれぞれの立場で行政改革に取り組み、健全財政を胸に秘め、慎重に行政執行に努力された姿勢が推察でき職員を高く評価したい。次世代に負担をかけない健全財政に今後も引き続き取り組んで、夢の膨らむ『いなべ市構築』に期待する。

「調査保護責任を放棄しているのでは」

行政は職員、議員の切なる声を受け止めないイヌワシ、図書館行政については許せない。具体例として、国指定天然記念物のイヌワシは県下で「いなべ市」のみに生息し、この調査保護責任を放棄し、太平洋セメント株式会社藤原工場のモニタリングに任せきりの一年であった。しかも「点検及び評価報告書」の不信箇所や「教育要覧」に至っては、イヌワシとイワメが記載漏れ、また職員間の意思疎通に欠け、保護意識は低く、市民の期待を裏切っていることに気づかない行政に反対する。



市の天然記念物イワメ

「防災、福祉施策等が 着実に進められている」

平成24年度の歳出決算額については、209億円と、前年度比18億円の大幅な増となっている。

実質単年度収支は15億円の黒字という良い結果がでている。

なお、決算額は大幅増となったが、内容を見ると「放送システムの整備などによる災害への備え」、「小中学校、保育園の建設による耐震化の整備」などは、いつ発生するかわからない自然災害から命と暮らしを守るため、『いち早く行わなければならない事業』として予算化したことが主な要因であり、いずれの事業も合併特例債を活用のうえ、着実に遂行されている。

また、福祉施策などについても、予算をもとに確実に進められている。

平成24年度一般会計の決算については、以上のことを踏まえ、議決した予算が適正に執行されている。

平成24年度水道事業会計決算認定について

(賛成多数 可決)

平成24年度の決算を、監査委員の意見を付けて認定に付するものです

「料金の統一は、 高い方に合わせるべきでなかった」

2体系になっている水道料金の統一は必要であった。しかし、合併前の各町の料金は、低い方から藤原町、大安町、員弁町、北勢町。平成24年に統一された新しい料金は、およそ員弁町の料金くらい。合併前の料金と比較すると、藤原町、大安町が値上げ、員弁町はおおよそ据え置き、北勢町は値下げになった。つまり、どこに合わせなければならないという根拠はない。よって、すでに一般家庭の使用水量での料金は近隣と比べて決して安くはない点と水道料金は多くの住民の負担

感が大きい点を考慮すれば、高い方に統一しなくてもいいと指摘した。また、住民の納得のいく説明や周知の必要性を提案してきたが、平成24年度、藤原町住民の水道料金を一気に平均40%の大幅値上げをすることの納得は十分得られていない中で大幅な値上げが提案され、反対した。

決算からは、一般会計からの補助金は合併当初より、2億3,000万円減らしながら、留保資金は合併当初より3億円増やし、水道事業会計は好調なことが分かる。

「市民が納得する基準で平準化する」

平均化、平準化するということはすでに10年前に決められていたこと。ましてや、藤原町の料金を値上げし、4町に合わせるといった話はあった。現実を見つめて何が基準か、皆さんが納得する基準が必要。藤原町の値上げに小言を言う人もいない。なにもかも平均ということではできないが、平準化することはできる。

下水道も上水道もこのままの状態では留保資金を使って、先に備えなければいけない。留保資金がなくなれば、あとはお金をかけて、補償するとき、交換するときに誰がお金を出すのか、そのときに、そんなところにお金を出さなくてもいいと論ずる、そういうことに付き合いきれない。

「留保資金も着実に増加」

合併後の一般会計からの繰出金の推移から見て、水道会計の決算状況が資本的事業補助金は横ばいながら収益的事業補助金が確実に低下してきた。

水道料金の市内統一の理解や100トン以上の大口使用が増加傾向にあり、24年度給水収益は3,000万円の増による営業収益が300万円の増となっていることから当局の努力が伺える。また留保資金も着実に増加傾向がみられる。貸借対照表からも企業債が2億1,188万8,000円減少して、伸び率もマイナス4.7%と減少している。この状況からしても24年度水道事業会計決算認定に賛成するところである。水道料金の収納率は、なお一層の向上に努められることを指摘しておく。

議案の審議結果一覧表

賛成と反対に分かれた案件

～ 下記以外の28案件は全員賛成で可決しました ～

議長 水谷治喜は採決に加わらない。 ○は賛成 ×は反対（付託委員会/総：総務常任委員会 教：教育民生常任委員会 産：産業建設常任委員会）

会 派			新政いなべ								政友クラブ			政和会			いなべ市議団 日本共産党	波 動	無 会 派	無 会 派	無 会 派
議 案 名	付託委員会	審議結果	小林昌彦	位田まさ子	岡 英昭	種村 正巳	伊藤 弘美	林 正男	太田 政俊	小林 俊彦	鈴木 順子	水貝 一道	多湖 克典	川瀬 利夫	水谷 治喜	衣笠 民子	石原 瞭	伊藤 正俊	奥岡 征士	小川 克己	清水 隆弘
平成25年度一般会計補正予算（第2号）	総・教・産	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	×	○	○	○	○
平成24年度一般会計歳入歳出決算認定について	総・教・産	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	×	○	○	○	×
平成24年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	教	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	×	○	○	○	○
平成24年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	教	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	×	○	○	○	○
平成24年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	教	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	×	○	○	○	○
平成24年度水道事業会計決算認定について	産	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	×	○	○	○	○

一般質問

あなたの声を市政に

9月4日、5日に12人の議員が一般質問を行いました。なお、一般質問の全内容は後日、市ホームページ、「市議会のページ」、「会議録検索システム」から閲覧することができます。

1. 道路網整備とまちづくりを問う
2. 「小1プロブレム・中1ギャップ」を問う
3. 新庁舎建設を問う



新政いなべ

岡 英昭

【質問1】 東海環状自動車道の進捗状況と付属施設の整備計画、アクセス道路とまちづくり構想は。

【建設部長】 四日市JCT～東員ICは平成27年度開通予定。東員～北勢ICは本年度本格工事開始で養老ICまでの開通は平成32年度の予定。ICは大安町高柳地内と北勢町阿下喜地内で名称はいなべ北・いなべ南で要望する。IC出入口付近や鎌田交差点等の道路改良等アクセス道を整備する。北勢町向平にパーキングエリアを設置され約70台の駐車場、トイレ、簡易な休憩施設が予定されるが内

容はさらに検討する。ICを生かし人や企業に来てもらえるような魅力ある構想と観光や物産をいなべブランドとして発信していく。

【質問2】 学校現場の状況と問題解決のための取り組み策は。

【教育長】 教育委員会を中心に保育園、学校等関係機関と連携し就学前教育から途切れのない取り組みで、小1プロブレム等の問題発生はない。小・中の合同研修会や個別に児童生徒の特性を共有する接続した情報交換会等により連携を密にする。

【質問3】 建設のための検討組織のあり方は。

【総務部長】 10月頃に専門家による基本構想計画を、平成26年4月に「建設準備室(仮称)」を設置し、その担当部署で新庁舎建設や現4庁舎および統廃合小学校跡地の利用等の意見集約を行っていく。



石榑小学校



農業施設、住環境は

防災の観点から整備を

新政いなべ

種村正巳

【質問 1】 近年温暖化気候による局所的な集中豪雨で災害が多発している。ため池、急傾斜地、員弁川流域の洪水対策について現状と防災対策は。

【農林商工部長】 国は東日本大震災での「ため池」等の甚大な被害を受けて、震災対策農業水利整備事業を策定した。市内89カ所の機能を有する「ため池」について施設・土質確認等の目視点検調査を実施する(7月19日発注)。貯水量10万t・堤防高10m以上の「ため池」は土質調査を9月19日に発注予定。これらを受けて、来

年度に被害想定地域・避難区域・避難場所等でハザードマップを作成する。員弁川流域防災対策の現状は頭首工・転倒堰・堤外取水施設は関係水利組合で維持管理されている。

【建設部長】 急傾斜地の現状は市内47カ所が指定されている。46カ所で法面等の整備が実施されている。未整備地は地元調整ができ次第、県に要望をする。

【総務部長】 員弁川流域河川災害の連携については防災リーダーの養成を検討している。

【質問 2】 いくつかのため池が近隣住宅の高所に位置している。過去の歴史的背景から災害時には人的被害も想定されるが住宅立地規制の対策はないのか。

【市長】 開発区域での規制等は現法ではできない。指導もできないので住民の理解が必要。

【都市整備部長】 建築確認の受付時に付近の状況説明をしている。



笠田大溜



1. 市の防災力を問う

2. 高齢者の今後の支援は

3. 学校のエアコンの設置を望む

新政いなべ

位田まさ子

【質問 1】 ①避難所の場所まで安全に行けるのか。街路灯の劣化、耐震診断は大丈夫か。②防災意識、特に若年層の意識を高めるには。

【総務部長】 ①②基本は自分の命は自分で守る。自治会要望の防犯灯は80基ある。震度6に耐えるようにし想定外をなくす。市民に周知徹底する。保育園、学校で防災教育を強化する。

【質問 2】 ①認知症予防の情報提供と啓発は。②市として家族の支援の充実は。

【福祉部長】 ①介護保険第6次の施策で地域で最後まで住めるよう、東員病院と介護の連携を強化する。国のオレンジプランを参考に幼児期での食育の推進、高齢者の生活習慣改善を行う。医療、介護、地域の3方向で考えている。②精神的支えの介護者の集いや在宅介護「だいふくの会」を市は全面的に支援する。

【質問 3】 学校にエアコンの設置を望む。

【教育部長】 学校の環境も踏まえて、2学期9月の測定からエアコン設置の検討をする。



大安中学校新校舎教室

市内における防犯設備を問う



政和会

多湖克典

【質問】 朝日町にて痛ましい事件が起こった。この事件も防犯カメラがあれば防げるものであったかもしれないし、起こってしまったとしても早期解決になったのではないかと悔やまれる。

安全でない場所には防犯カメラが活用されてきている。

①いなべ市内では、防犯カメラがどこに何台設置されているのか。

②市内には、体育施設や文化施設、公民館、学校などの人の集まる施設があると思うが、これらの場所に防犯カメラを設置する予定は。

③街灯について、夜間に道路を照らす街灯が青色であると、犯罪

行為が減少するという事例がある。市内において、青色街灯の現状は。

【総務部長】 ①市の設置しているカメラは、大安庁舎3カ所、員弁庁舎2カ所、藤原中学校、大安中学校、員弁西小学校、員弁東小学校、石榑小学校。

市内の防犯カメラについては、いなべ警察も把握していない。

②現在、防犯カメラの設置予定はないが、今後行政施設で必要があれば付けていく。

③青色防犯灯について、自治会要望があれば設置の検討をする。



防犯カメラ

中小企業振興条例の制定を



政友クラブ

水貝一道

【質問】 都市と地方の格差が大きくなっている。地域の経済や住民の暮らしの将来をつくっていくのは地域で活動している経済主体すなわち中小企業家、商業者、農家、地域の金融機関、NPO、そして地方自治体である。それらの主体が地域で繰り返し投資し、投資の連鎖が循環していけば新しい仕事や雇用が生まれる。自治体を中心となって地域内経済循環を構築しなければならない。この仕組みを持続させるための最も有効な手段の一つが中小企業振興条例の制定である。条例を制定すべきと思うが見解を問う。

【農林商工部長】 当市は株式会社デンソー、トヨタ車体株式会社等世界的な企業の工場があり、税収面、雇用面からありがたいことと思っている。しかし、当市の発展を支えてきたのは中小企業家、商業者、農家等のたゆまぬ努力があったと思っている。中小企業で働く人々が元気になることが重要であると考えている。市内の統計数値では中小企業は微減、商業者は大幅に減少している現状である。市も商工会の運営補助、利子補給、新規創業者の支援等も行っており、中小企業の振興は重要な施策と位置づけている。条例の制定につい

てはその必要性も含め県内市町の状況を注視し調査検討していく。



阿下喜商店街



政友クラブ

鈴木 順子

1. 地域包括ケアシステムとは

2. 障がい者(児)福祉への考えは

3. 災害対策基本法の改正の対応は

【質問1】 ①住み慣れた地域で誰もが安心して暮らし続けられるために、地域課題を把握し、生活支援をする必要があるが市の取り組みは。②医療と介護の連携が不可欠だが、いなべ市としての取り組みは。

【福祉部長】 ①アンケートを取り、地域課題の把握をし、課題解決に向けて事業を進めている。②日常生活圏域において在宅と施設・病院の連携・強化が必要。課題は、医療と介護の連携体制が十分構築するような仕組みづくりが必要であり、在宅医療が不可欠。多職種

連携の勉強会を立ち上げたい。

【質問2】 ①就学前の重度・心身障がい児の支援拡充が必要だが。②いなべ市には重度・軽度の障がい者のグループホームが必要。今後の取り組みは。

【福祉部長】 ①今ある社会資源を活用し、地域の保育所を中心に機能回復訓練の機会を可能な限り増やしていく。②障がい者の方が少しでも安心して暮らせるようグループホーム開設に向けて2事業者と具体的な協議をしている。

【質問3】 ①災害時要援護者の避難対策として、福祉施設が避難場所となるが、対応は。②防災会議に女性参加が必要では。

【総務部長】 ①障害者支援施設・介護保険事業所と災害時における福祉避難所設置運営に関する協定書を結んだ。②来年1月に現在の委員が満了となるので、その時点で女性登用を積極的にしていく。



防災訓練



波動

伊藤 正俊

未来志向で藤原の小学校統合を

【質問】 市町村が合併したことにより約70%補助される(合併特例債)事業を質問する。国は1,000兆円の借金で苦しい中、市の決算は良好で投資余力が出てきた。合併後10年とされていた特例債事業も震災で5年間延長され、約2分の1(約100億円)の使い残しの枠が残っている。①学校統合は十社か藤原か明言していない。どこの学校をいつ、どこで行うのか。②子どもが少ない所には老人が多くなる。子どもたちが使っていたものを老人が使う。町、学校統合により空き施設(プール、体育館、教室、運動場他)が多くなる。これ

を機に高率補助事業に乗せ、いなべ市の高齢者福祉対策事業を検討する考えはないか。

③好決算の時こそ高い金利の借入金を返して70%も補助される合併特例債事業を起こす時ではないか。借り換えを限界までしているのか。

【市長】 ①教育委員会がオブラートで包んでいるが藤原の小学校統合。場所は藤原中学校敷地内、5年間を待たずに統合が可能になる。②自治会長と相談して決めたい。ただし、初期投資にとどめ、維持管理費を市は持たない。

【企画部長】 ③努力している。



藤原中学校

1. 向こう10年を見据えた市政を問う

2. 資源循環型社会、地域資源の活用は

3. 障がい者就労問題の現状と課題は



波動

奥岡 征士

【総務部長】 ②エコカーは本年度末で11台の導入予定。③既設公共施設への太陽光パネル取り付けは耐久性などに問題がある。

【質問3】 いなべ市の雇用、就労の現状と課題は。

【福祉部長】 県と協調して鋭意取り組んでいる。障がい者の範囲が広くて就労希望実態が把握し難いが今後も努力していく。



風力発電

【質問1】 ①市長の行財政運営の基本姿勢は「入(い)るを量りて出(い)づるを制す」であるのか。国の基本は「出(い)づるを量りて入(い)るを制す」と言われているが、財政運営方針が異なるのか。②100%市の負担で社会福祉協議会への職員派遣は違法な歳出ではないか。③公有財産整備室が廃止されたが、公有地の整理が整ったということか。その状況は。④福祉・防災など単一自治会より大きな単位の地域協議会設立の時期ではないか。

【市長】 ①地方自治法上、国と同様ではない。

【総務部長】 ②11名を派遣している。違法性はない。③売り物件を調査中。④当市では単位自治会で対応が可能。

【質問2】 ①貴重な「いなべの水」を守り、さらに活かす方策は。②エコカーの導入状況は。③広大な公共施設・遊休土地の屋根で太陽光発電事業をしてはどうか。

【水道部長】 ①藤原の水源は水利権問題で課題が多い。水の有効活用は将来的に検討していく。

1. 小中学校普通教室に エアコンの設置を

2. 障がい者施策の充実を

3. 即効性のある地域景気対策

「住宅リフォーム助成制度」

の実施を



日本共産党いなべ市議員

衣笠 民子

【質問3】 「住宅リフォーム助成制度」は住宅政策ではなく、即効性のある地域景気対策として全国に広がり、実績も上げている。耐震工事と並べてどちらが優先と論じるものではない。地域景気対策としてどう考えるか。

【副市長】 いなべ市は耐震工事を優先したい。研究はする。



エアコンが設置されている藤原中学校教室

【質問1】 ①エアコン設置の藤原中学校、石榑小学校以後建て替えた員弁西小学校、員弁東小学校、大安中学校は設置のための仮配管、キュービクル等は備えて建設している。エアコンが必要と考えているのか。②藤原中学校、石榑小学校では必要に応じて利用されているか。③エアコン設置を12月補正予算で予算化すべきだが、考えは。

【教育長】 ①昨今の暑さからエアコンの設置は避けることができない。早急に検討委員会を立ち上げ、設置されている学校の状況、設置をする際の基準、設置校の選

定など進めていきたい。

②今年1学期、藤原中学校で14日間、石榑小学校で12日間使用。室内温度を鑑みて稼働。学校の運用で稼働。

【市長】 ③年間10日に対する費用対効果の是非かを判断する必要がある。単純にはいかない。

【質問2】 ①福祉避難所の進捗状況は。②グループホーム（成人障がい者の居住地）の進捗状況は。

【福祉部長】 ①事業所と協定書の締結を行った。②2事業所で行う方向。市が運営を支援していく。



日本共産党いなべ市議員
石原 瞭

1. 国政との関連
2. 合併10年の総括と今後
3. 住み続けられるまちづくり

【質問1】 安倍政権は、消費税増税・原発再稼働・憲法改正で暴走しないか不安が高まっている。国政の政策も最終的に住民と向き合うのは自治体の窓口である。議会は市民の暮らしを守っていくために意思表示することが必要である。

①生活保護基準の切り下げについては、今後3年で最大10%引き下げ、今年8月から実施した。いなべ市の影響は。

②社会保障切り下げについては、「要支援」を保険から外すという。いなべ市はどうするのか。

【福祉部長】 ①生活保護受給者は116世帯、160人。

全体で4万9,000円の減額。8人世帯で月8,050円減額というケースが最大だが、いなべ市においては、この額では大きな影響はないと考えている。②要支援認定者は380人。介護予防に重点を置いた要支援状態の軽減、悪化防止の機能訓練の提供を受けている。今後の国の動向を見て対応。

【質問2】 総合支所の運営に交付税加算が検討されている。新庁舎の議論もあるが支所をどうするのか。

【総務部長】 コンビニ収納・コンビニ交付の実施により、市民の利便性がよくなる。

それに伴い窓口業務を見直す。新庁舎の基本計画策定の中で検討していく。

【質問3】 滞納による給水停止の実態は。

【水道部長】 平成24年度の執行件数166件。



大安総合窓口



無会派
清水 実

1. 巨大災害時代に自然と共生可能な歴史科学の創出は
2. 藤原山荘トイレの改修と聖宝寺登山道を回復せよ
3. 藤原図書館閉鎖で読者難民の救済は

【質問1】 気温の温暖化と水不足や心配される水害、竜巻、地震への取り組みと災害の調査研究での歴史科学の創出は。

【農林商工部長】 市内の農地には影響がなく、三重用水の水不足は権限外。

【総務部長】 いずれの災害についても、危機管理課が専門的な研究や研修を重ね、24時間体制の意気込みで頑張りがつあり、また自然と共生可能な歴史科学については、安田喜憲博士の講演を視野に入れ検討したい。

【質問2】 藤原山荘トイレ改修と聖宝寺登山道の回復は。御池岳、藤原岳、竜ヶ岳の登山ガイドと入山保険は。

【農林商工部長】 平成26年度着工予定で県に3,600万円程度の計画書を8月22日に提出し、国の採択を待つ。聖宝寺登山道については、山荘運営委員会に金額も再検討し、計画的に委託。観光ガイドおよび入山保険については考えていない。

【質問3】 藤原図書館の閉鎖に伴い読者難民の救済は。

【教育部長】 行政改革で仕方がない。将来の中央図書館でカバーしていく。図書の整理は遅れていて申し訳ない。「員弁の伝説」は一冊のみ出てきた。



藤原図書館

1. 子供たちに読書環境の充実を

2. 地域防災計画の見直しは

どうなっているか

3. PFI方式を活用した新庁舎建設は



無会派

清水 隆弘

対策基本条例」に基づき計画を修正する。②人を優先で考えたい。

【質問3】 新庁舎建設に合併特例債とPFI方式の併用は総務省も認めているが、検討は。

【企画部長】 新庁舎建設にはPFI方式は使わない。PFI方式は合併特例債が終わった後で、市民ニーズを把握し、施設ごとに対応していく。

※PFI…公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力および技術的能力を活用して行う手法。



充実が望まれる学校図書館

【質問1】 ①学校図書館図書標準の未達成の学校は。②司書教諭の未配置の学校は。③司書教諭への支援は。④近隣市町は学校司書を配置済。文科省資料によると配置している学校は学力が高い。本市の配置の予定は。⑤学校図書館を一般に開放は。⑥市立図書館の1館に統一の工程は。⑦図書館の活性化は。

【教育部長】 ①山郷、員弁西、員弁東小学校。大安中学校。②白瀬小学校、藤原中学校。③司書教諭の資格取得費用の一部を補助。④配置の予定はないが、図書館司

書職員が連携する。⑤石榑小学校で土日に開放。員弁地区でも検討中。⑥具体的な工程は現在ない。⑦インターネットを活用し利便性の向上を図る。

【質問2】 ①災害対策基本法の改正に応じた地域防災計画の対応は。②8月末に環境省がペットの救護対策ガイドラインを発表。実際に私も見たが、東日本大震災での避難所ではペットの件で問題があった。対応は。

【総務部長】 ①法と議員提案の「いなべ市みんなで支え合う災害

総括質疑 Q & A

当直業務の民間委託

Q 当直業務で対応してきた主なことは。

A 宿直は1人体制。閉庁日の日直は2人体制。郵便宅配の受け取り、婚姻届、出生届、死亡届などの受理、火葬認可証と斎場使用許可証の交付。気象情報災害情報の受理。電話予約による証明書（住民票、印鑑証明、所得証明）の交付。道路上の動物の死がい、水道の漏水情報を受けて処理、庁舎内外の巡視。年間約1,170件の処理をしている。

Q 窓口業務の民間委託で、当直業務はいままでと変わるのか。

A 今まで行っていた業務をすべてする。変更点は、宿直、日直とも2人体制。

Q プライバシーの保護は。

A 非常勤の嘱託職員。守秘義務が与えられる。

防災FM放送

Q 防災FM放送の委託先、内容、放送時間は。

A NPO法人いなべ市文化協会。地域に密着した放送。災害発生、予防の情報、行政サービス、生活、観光レジャー、イベント情報。24時間放送だが、何時間かは音楽など流す。受信については緊急時に自動的に電源がオンになるラジオがあるが、普通のラジオ、スマートフォンのインターネットラジオ、自宅のパソコンでも受信は可能。Jアラート、災害時に必要な情報、行方不明者搜索情報。ラジオ購入費

の補助は考えていないが、同報無線で今までどおり情報は得られる。

ぼたんまつり

Q 入場者数は。

A 2万1,513人で毎年の入場者数が1万人前後からすると増えた。新聞、雑誌、ラジオ、ポスター等でPRしている。

Q 受け入れ態勢は。

A 1万人から1万5,000人の入場者数を予定しているが、駐車場の整備を含め、園内を整備して入場者の満足度を高めたい。ぼたん園に入る人のみ入場料を徴収するようにすれば駐車場に入るところの混雑がなくなる。

総務常任委員会 視察研修（7月18日～19日）

1. 移住者が増えるまちの取り組み（徳島県神山町）

神山町は、人口約6,300人、徳島県中部の山あいの町。高齢化と人口減少に危機感を持った町の一つです。その町が、平成23年の人口動態調査で、転出者より転入者が上回った日本で唯一の自治体になりました。研修ではNPO法人グリーンバレーが中心になって取り組んでいることを学びました。

■「とくしまサテライトオフィスプロジェクト」

最近、新聞やテレビで取り上げられることも多くなってきた「※サテライトオフィス」。

神山町は、その特徴を活用し、「仕事と個人の生活を、より豊かでバランスの取れたものにできないだろうか？」と考える企業側の思いと、「地域存続のために何か手立てはないだろうか？」という地域の思いをつなぎ生まれたプロジェクトです。

●サテライトオフィスのメリット

- ・豊かな自然環境の中で、心も体も元気になる。
- ・地域の人のあたたかさに触れられる。
- ・仕事に集中でき、能率が上がる。
- ・情報技術の発達により、本社にいるのと変わらない仕事ができる。
- ・通勤に時間がかからない。

●神山町のメリット

- ・町に雇用が生まれる。
- ・移住を伴う場合、こどものいる家族が増える。
- ・IT企業の発想やアイデアが地域に新しい視点を運んでくる。
- ・新たな産業が生まれる可能性がある。
- ・町が元気になる!!!

※サテライトオフィス……企業などが本拠地（本社）から離れた所に設置するオフィスのことで、インターネットなどを通じて、離れた場所においても、本社と同等の業務ができることが特徴です。



空き家を改修したサテライトオフィス

2. 防災公園整備（徳島県阿南市）

阿南市は、人口約78,000人、太平洋に面した四国東端の市。東南海・南海地震で発生が予想される津波に対して避難場所の創出を行うため、人家が密集している地域で、防災公園整備に取り組んでいます。

■避難時に役立つさまざまな機能

平常時は、周辺住民の憩いやレクリエーションの場として公園に慣れ親しめる一方、非常時には、津波一次避難場所や被災の前線における消防・救援・医療活動の中継拠点として機能します。

◆公園に整備されているもの◆

- ・備蓄倉庫：消防器具、毛布等の備品を収納
- ・照明灯：電気のいらぬソーラータイプ
- ・トイレ：平常時は水洗式。災害時には水が止まっても汲み取り式として利用可能。
- ・進入路：公園の方々から進入できるバリアフリー

の進入路。3 m登るごとに平地があるなど工夫がうかがえます。

- ・ベンチ：平常時はベンチ。災害時はかまどとして使用できます。



炊き出しなどに活躍するかまどベンチ

産業建設常任委員会 視察研修（7月29日～30日）

1. 産業観光のまちづくり（長野県岡谷市）

岡谷市は平成20年より産業と観光を結びつけた産業観光の取り組みを始め、市内にある製糸業に関わる近代化産業遺産群も活用し、まち歩きや絹工房での機織りの体験など新たな事業にも取り組み「ものづくり」の産業史が学べる体験型観光と位置づけ、事業を展開。平成23年度には第5回産業観光まちづくり大賞（全国産業観光推進協議会）の特別賞を受賞されました。

産業観光の推進として、広域での連携により産業観

光推進ツアーを実施されており、昨年10月に産業観光フォーラムを開催。

また、県補助金の緊急雇用創出事業を活用し、観光協会に事業委託を行ったり、市外の方にも、ものづくりを見ていただくために、平成25年度から施設の整備等に対して岡谷市が産業観光推進事業補助金を新設するなど、産業観光の推進のためにいろいろな取り組みをされていました。



岡谷市視察研修



岡谷市議場

2. 6次産業とオープンガーデンの取り組み（長野県小布施町）

小布施町では6次産業として地元農産物を生産（1次産業）し、加工・商品化（2次産業）したものを観光（3次産業）事業と連携させ、新たな付加価値を生み出す新産業を創出するという取り組みを行い、小布施の新たな農産物ブランドを強化し、「小布施屋」という商品のパッケージやラベルなどのデザインを刷新、販売ブースのリニューアルなどを実施するなど、ブランド化の販売戦略に取り組んでいます。また、自治会花壇、公共花壇はもちろん、個人住宅の庭を一般に公開し、自由に立ち入って鑑賞してもらう「オープンガー

デン」を平成12年に38軒の参加でスタートし、現在では100軒を越える参加者と企業、団体、学校があり、街中を花いっぱいでもてなす取り組みもされています。小布施町へは年間120万人以上の観光客が訪れるなど住民と行政が一体となって取り組んでおり、歴史と文化を活かしたまちづくりをされています。



6次産業センター視察



オープンガーデンの家を視察

いなべ市議会だより



市民の声

クイズの応募ハガキに書き添えられた、議会・議会だよりなどに対するご意見やご感想を紹介します。

◎ いなべ市議会だよりを毎号拝読させていただいています。写真やイラストで、分かりやすく読みやすいです。議会改革にも積極的に取り組んでおられるようですが、市民によりオープン（例えば議会の夕方開催など）で身近な議会になることを期待します。これからも、住民の声を反映し様々な議案書を提出・可決し、より良い市民生活が送れるようにしていただきたいです。
78歳 女性

◎ 議員報酬を減らす(日当制にする)。 29歳 男性

◎ 遊歩道よりバスを増便させて。夏休みに学校へプールに行くのですが、9時台のバスがないので1本でも運行してもらえるとありがたいです。(夏休み中だけでもいいです) 共働きの家族が多いので負担です。
37歳 男性

◎ 主婦なので毎回のいなべ市議会だよりを楽しみに拝見しています。いなべのことをもっと詳しく知りたいので、これからも細かい情報も楽しみにしています。
58歳 女性

◎ 医療費3割、消費税の引き上げ、年金生活者の今後の生活はどうなるのか不安です。 66歳 女性

◎ 暑い中どうか皆様お体気をつけてがんばって下さい。議会だより、とてもわかりやすい紙面で楽しみにして見せてもらっています。賛成討論、反対討論が詳しく書いてあり、よく分からせてもらいます。ありがとうございます。
71歳 女性

◎ シャトルバス、福祉バス停新設について、最寄のバス停まで約800m位あり、本当に困っている、早急に設置してほしい。

設置場所は南金井西山畑とガソリン農道と笠取団地との交差点の西側に設置。
81歳 男性

◎ いなべ市の中で石榑小学校以外はエアコンがありません。日々暑さで子供たちもがんばっていますがエアコンの設置等も必要性など取り上げて頂きたいです。

11歳の保護者

◎ 子供が小さい為、夏の暑い時に遊ばせるのに公園は紫外線が気になり、無理なので屋根のある所を無料開放してほしい。例えば○△□とか、体育館（小学校等）。
4歳の保護者

◎ いなべ市議会だよりを毎号拝読させていただいています。写真やイラストで、分かりやすく読みやすいです。視察研修報告は分かりやすいです。ぜひ、市政に活かしていただきたいです。これからも住民の声を反映し様々な議案書を提出・可決し、より良い市民生活が送れるようにしていただきたいです。
49歳 男性

◎ いつも議会だよりの届くのを楽しみに待っています。わかりやすく自分ひとり、うなずき外へ出られない暑い日の中、涼しい部屋で読んでいます。新庁舎建設は30億円とは老人には想像もつきませんが、
次世代のためによりよく考えてください。
84歳 女性

◎ 今、議会で何が話し合われていて、何が決まったのかがよく分かります。市民がもっと身近に感じられるようにがんばって下さい。
53歳 女性

◎ 議会のことがよく分りクイズが楽しみです。
77歳 女性

◎ 議会のことがよく分りいなべ市が良くなりますように。
78歳 男性

◎ 大安町～阿下喜区間の福祉バス東部線を三里地区公共交通の無い中で老人の多くは病院へ行くのを大変困ってみえます、1日3本ほしいですね。
69歳 男性

◎ 災害に強いいなべ市、安全で安心なまちづくりを次の世代につなげていくよう期待しています。

70歳 男性

◎ いなべ市議会だよりを毎号拝読させていただいています。写真やイラストで、分かりやすく読みやすいです。議会改革にも積極的に取り組んでおられるようですが、市民によりオープン（例えば議会の夕方開催など）で身近な議会になることを期待します。視察研修報告は分かりやすいです。ぜひ、市政に活かしていただきたいです。 50歳 男性

◎ がんばってください期待しています。 70歳 男性

◎ 議会の内容がよく理解できる。 女性

◎ 議会だよりをいつも新聞より熱心に時間をかけて読ませていただいています。これからの人生を子どもたちと共に市内で自然を楽しみながら生き生きと過ごせるところや又新庁舎に向けての取り組みをがんばっていただきたく明日を楽しみに健康であることを感謝しています。 68歳 女性

◎ 太田政俊議員表彰おめでとうございます。 59歳 男性

◎ いなべ公園整備ですが私たちはあまり利用しません。それなのに整備をして、維持費を使うのはどうかと思います。利用者もそれほど多いとは思いませんが。消費税引き上げはやめていただきたい。まだ景気もよくなっていないのに消費税を上げたら消費者は財布のひもを締めてしまいます。消費税は低所得者にはすぐに影響すると思います。道路建設で渋滞を解消するのはいいと思いますが、現在利用している道路の整備も行ってほしい道路がへこんでいたので役所に連絡し、修繕してはもらったのですが、きれいに直してもらってなく、これで役所はOKを出したのか確認はしてもらえないのでしょうか？まだへこんでいます。 54歳 女性

◎ いなべ市において現在どんな事が問題になり議論されているかよくわかりました。これからも安心して生活ができるようがんばってください。 68歳 男性

◎ 今年も暑いのでみんながんばってください。 59歳 男性

◎ いなべ市議会だよりを毎号拝読させていただいています。写真やイラストで、分かりやすく読みやすいです。議会改革にも積極的に取り組んでおられるようですが、市民によりオープン（例えば議会の夕方開催など）で身近な議会になることを期待します。クイズも楽しいですが、クロスワードパズルなどを掲載していただくと嬉しいです。 79歳 男性

◎ 議会が活発に行われている事に力強く思います。 59歳 女性

◎ 毎号市議会の内容がよく分かるよう知らせてもらって嬉しいです。議員さん方の御活躍も詳しく知ることができます。 63歳 女性

◎ 市民が一票を投じて選ばれた議員の皆さんがどんな活動、発言をされているか、この「議会だより」を読むとよくわかる気がして「Link」同様必ず目を通してしています。これからもわかりやすい、読みやすい紙面に期待しています。 53歳 女性

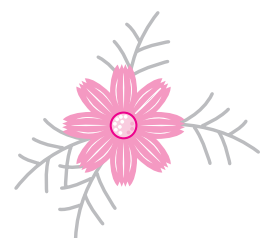
◎ 議会だよりを毎号拝読させていただいています。議会の皆さまには私共市民の1人として、いなべ市をより住みやすくしようと日ごろ奮闘していただいておりますことを感謝いたします。 73歳 男性

◎ 子育てに毎日一生懸命です。これからのいなべ市、実現できれば最高ですね、期待しています。どうぞ皆さまがんばってください。 36歳 男性

◎ 近い将来すばらしいいなべ市になる事を願っています。市長さん、議員さんががんばってください。 68歳 女性

◎ 市発展のためがんばってください。 70歳 女性

◎ 地域密着型小規模特別養護老人福祉施設平成26年開設良い事と思います。



クイズ当選者

ご応募いただき、ありがとうございました。

正解は

問1 いなべ市 **みんな** で支え合う災害対策基本条例

問2 ① いなべ公園

問3 ② 30億円

正解者の中から、厳正に抽選を行った結果、次の15人の方が当選されました。

高 柳	出口美智子 様	高 柳	出口 増男 様
畑 新 田	伊藤 広司 様	東 禅 寺	清水 道男 様
田 辺	川瀬八重子 様	一 之 坂	外川 勝子 様
西 町 3	近藤 誠 様	小 原 一 色	水谷 茂信 様
中央ヶ丘	飯田 敬太 様	丹 生 川 中	樋口 保子 様
南 金 井	藤田 久男 様	中央ヶ丘	井上 瑞夫 様
南中津原	伊藤美智枝 様	東 一 色	伊藤いつ子 様
南中津原	伊藤 了 様		

応募いただいた「ハガキ」にご記入の個人情報については、目的以外に一切使用いたしません。

東海環状自動車道着工式



鉄入れ式



閉会の辞を述べる水谷治喜議長

編集後記

いなべ市議会だより、いかがでしたでしょうか。留任3名、経験者3名の心強いメンバー構成で、この1年間、市議会の動きを市民の皆さんに少しでもわかりやすくお伝えし、そして、市議会を身近に感じていただくよう紙面を工夫してまいりました。11月末日にて私たち市議会議員は任期満了となります。議会だよりのクイズ等にて市民の皆様から貴重なご意見をいただきましたことをこの場をお借りして感謝申し上げます。

12月定例議会(予定)

- ◆開会日……………12月 9日(月)
- 一般質問……………12月11日(水)
- ……………12月12日(木)
- 総括質疑……………12月16日(月)
- 総務常任委員会……………12月16日(月)
- 教育民生常任委員会…12月17日(火)
- 産業建設常任委員会…12月18日(水)
- ◆閉会日……………12月20日(金)

皆さんからのご意見、
ご感想をお待ちしております。

連絡先

〒511-0292
三重県いなべ市大安町大井田2705番地
いなべ市議会 議会事務局
TEL(0594)78-3515/FAX(0594)78-3516
<http://www.city.inabe.mie.jp/~gikai/>